

# 保護者・地域の皆様

令和4年2月

## 令和3年度 二上小学校 学校教育アンケート(保護者・地域)集計結果

葛飾区立二上小学校  
校長 三谷 あゆみ

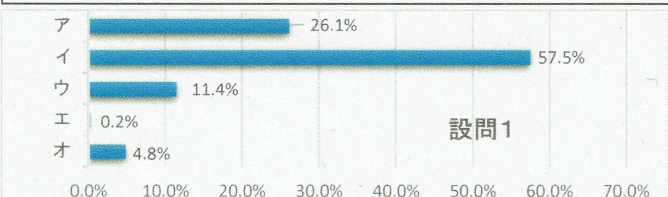
○調査時期 令和3年11月 ○調査対象 保護者(全学年)、学校評議委員

○調査方法 WEB上による質問紙法

○調査対象 回答数 402人 回収率 69.1%

ア:よくあてはまる イ:ややあてはまる ウ:あまりあてはまらない エ:まったくあてはまらない オ:わからない

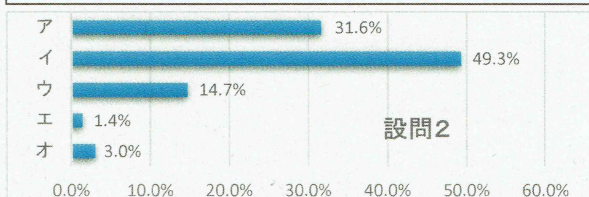
1 学校は、教育目標や学年・学級の目標を保護者に分かりやすく伝えている。



83.6%(昨年度81.5%)の保護者の皆様から肯定的評価をいただきました。学校だより・学年だより・ホームページ等で、学校教育目標や学年・学級目標等を保護者・地域の皆様に分かりやすく伝えようと努めたことを受け止めていただけたのではないかと思います。

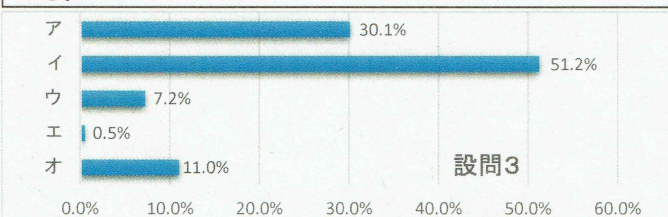
来年度も引き続き、教育目標や学年・学級目標等が広く保護者・地域の皆様に分かりやすく伝わるよう、方策を工夫していきます。

2 学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。



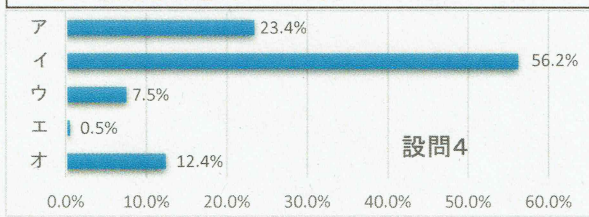
80.9%(昨年度80.3%)の保護者の皆様から肯定的評価をいただきました。今後も、より丁寧で誠実な対応を行うこと、スクールカウンセラーや養護教諭等との連携による相談体制の確立等、組織的な手立てを講じていきます。また、学校からの情報発信や保護者からの情報の収集に一層力を入れていきます。

3 学校では、授業内容が分かりやすく、楽しい授業をしている。



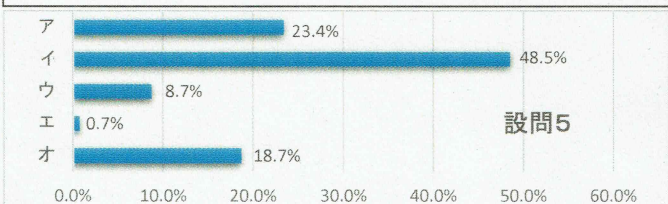
81.3%(昨年度80.3%)の肯定的評価をいただきました。今後も校内の研修や区の研修会を通して教師の指導力向上を図るとともに、授業の準備を十分に行ったうえで子供たちにとってわかりやすく楽しい授業となるよう、授業の工夫・改善に臨みます。また、タブレットをはじめとしたICT機器を活用して主体的な学びとなるようにするとともに個に応じたきめ細かな指導をさらに推進し、基礎・基本を中心とした確かな学力がすべての子供に定着させられるようにしていきます。

4 学校は、道徳教育に力を注ぎ、子どもに思いやりの心や規範意識を育てている。



79.6%(昨年度72.3%)の肯定的評価をいただきました。今年度はコロナウイルスの影響により分散参観のため例年実施している葛飾教育の日の全学級での道徳科の授業を全ての保護者の方にご覧いただくことはできませんでしたが、今後も引き続き全教育活動を通じて道徳教育を推進するほか、異学年による「縦割り班活動」や児童会を中心とした「挨拶運動」等の取組で、思いやりの心や規範意識を育てていきます。

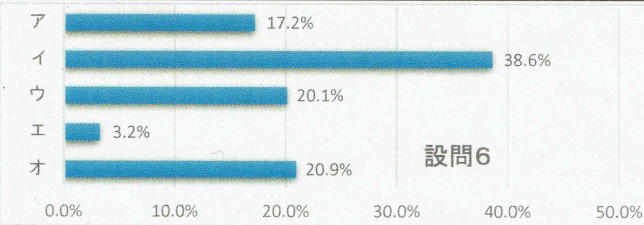
5 学校は、教育活動において、人権を尊重する姿勢で子どもの指導に当たっている。



71.9%(昨年度72.6%)の肯定的評価をいただきました。しかし、約20%の方はオ「わからない」と回答されています。今後も全教育活動を通して人権教育を一層推進させていくとともに、学校だよりやホームページ等を通じて本校の人権尊重の取組についてお伝えしていく必要があります。引き続き、校内人権研修の継続、人権標語の取組等を通して、教職員の人権感覚を更に磨いていくとともに、いじめを許さない姿勢と指導を徹底していきます。

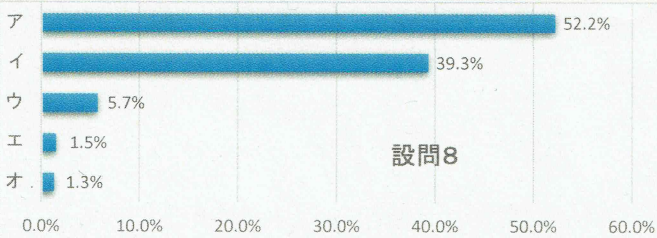


6 学校には、地域や学校の特色を生かした自慢できる教育活動や行事がある。



55.8%(昨年度59.9%)の保護者から肯定的評価をいただきました。しかし、約20%の方はオ「わからない」と回答されています。本校は、特色ある教育活動として、和太鼓クラブや図書ボランティア等の教育活動を保護者や地域の方々と協働で行っています。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため教育活動が制限され、これらの学校の特色を生かした活動ができませんでした。今後通常の教育活動が可能となった時には、学校の特色を生かした活動についての広報活動を学校だよりやホームページ等を通じて行っていきます。

8 お子さんは、学校へ楽しく通っている。



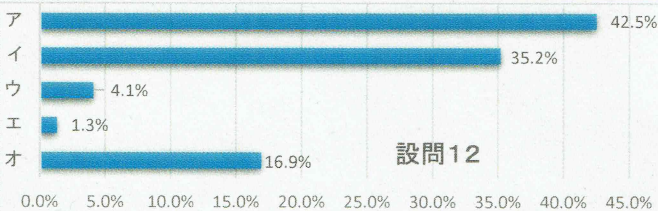
91.5%(昨年度91.7%)の保護者から高い肯定的評価をいただきました。一番高い割合で肯定的評価をいただきました。今後も、皆様の支援を得ながら、子供たちが楽しく学校生活を送れるよう、魅力的な授業の実現はもちろん、各行事でも工夫を重ねていきます。「葛飾教育の日」や各行事でその様子をご覧いただけるようにしていきます。

10 子どもたちにとって学校の施設や設備が充実している。



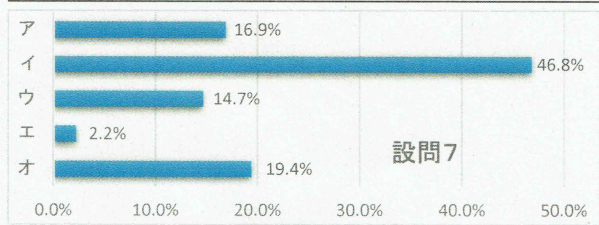
60.4%の保護者から肯定的な評価をいただきました。しかしながらオ「わからない」の回答を含め約40%の方は否定的な評価でした。体育館に冷暖房設備が設置されるなど設備がよりよくなっている面もあります。今後も今ある本校の施設や設備を十分に活用しながら子供たちにとってよりよい教育活動を進めていきます。

12 学童保育やわくチャレで子供が安全・安心に過ごせている。



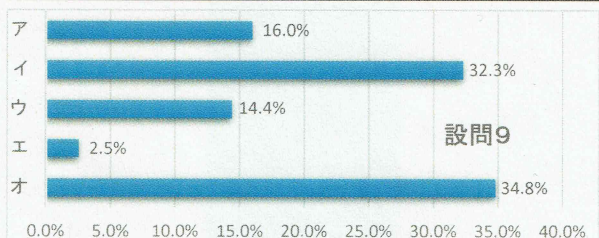
77.7%の肯定的評価をいただきました。本校では、昨年度から二上わくわくチャレンジ広場が民営化され、年間を通じて全学年で利用できるようになっています。子供たちの居場所づくり、遊び場の提供を区と連携して実施しています。また、学童保育クラブとも様々な面で連携し子供たちが安全・安心に過ごせるようにしています。

7 学校は、保護者や地域の人などが、積極的に教育活動にかかわるよう工夫している。



本校では、学校地域応援団や父親の会が中心となり、図書ボランティア等の協力のほか、父親の会主催の各イベント等、多くの場面で保護者・地域の皆様にかかわっていただいておりますが、これらの活動も新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて行うことができませんでした。今後、活動が再開された際には連携の強化を図りながら活動を広めていきますので、ご協力をお願いします。

9 学校は、積極的に地域の行事に参加している。



今年度も、地域の盆踊りなどの各町会行事やロードレース大会をはじめとした地域行事もすべて中止となりました。今後、地域行事等が再開できるようになった際には、教職員もより積極的に参加し、交流することを通して、学校・保護者・地域の三位一体となった教育活動が行えるようにしていきます。

11 子どもに対して生活習慣を身に付けることなど、家庭での教育を心がけている。



93%の高い評価でした。好ましい基本的な生活習慣を身に付けるためにはご家庭のご協力が不可欠です。「早寝・早起き・朝ごはん」や「あいさつの励行」をはじめとした各ご家庭の教育のもと、学校では子供たちに社会性を身に付け、心身ともに健全な子供たちの育成に努めていきます。学校・家庭・地域の三位一体となった取組を継続していきます。引き続きご協力をお願いいたします。